1953年6月16日　第三種郵便物認可

2021年12月27日（月）　3103号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

●ホームページ　www.dylj.or.jp　●Eメール　minsin@dylj.or.jp

見どころ

第45回全国大会決議　（５～８面）
日本共産党・田村智子副委員長あいさつ　（４面）
新自由主義とは何か　（10、11面）

第45回全国大会

◀6ブロックの会場に分かれて行った全国大会の参加者たち

新自由主義から転換させるたたかいを

12月11、12日、民青同盟は第45回全国大会を開催しました。長引くコロナ危機の下、食料支援をはじめとして全国各地で新自由主義とたたかってきたことを交流し、第45回全国大会決議で呼びかけられた「新自由主義からの転換」への思いを高め合いました。

（文中は一部仮名、今井千尋記者）

青年を苦しめる新自由主義

民青同盟は第44回大会期、全国で1276名の仲間を迎え、2006年以来の歴史的な拡大到達となりました。2002年以来となる現勢での前進です。大会中にも多くの仲間を迎え、北海道同盟は閉会直前に年間拡大目標100名を達成し、会場から大きな拍手が送られました。

決議では、「福祉を切り捨て、全てを競争と自己責任の市場原理に任せる新自由主義から転換させる決定的な一年にしよう」と呼びかけています。討論では、新自由主義がいかに青年を苦しめているのかが多くの発言者から語られました。

鹿児島の長野誠さんは、医療現場での長時間労働とパワハラで心身を壊され働けなくなった経験を話しました。「食欲も起きる気力もなく、ほとんどベッドの上で過ごしていた」と長野さん。行政の支援が受けられず、貯金が底を尽き、一人暮らしの家賃や光熱費が毎月出ていく現実に、「日本で行き倒れるかもしれないと日々不安を感じ、何度か自死も考えた」とふり返ります。そのとき、当事者として初めて政治に目を向け、日本共産党との出会いをきっかけに民青に加盟しました。長野さんは食料支援活動や、そこで聞いた学生の実態を改善するよう県に対する申し入れにとりくんできました。学生や青年に「自己責任の問題は変えられると広げていきたい」と意気込みます。

千葉の高橋順さんは、「バンドをやるために非正規雇用で7年ほど働いてきた。手取りで9万円になるときもあった」と自身の経験を話しました。世間から「望んで非正規なんだろう」と一蹴される空気がとてもつらかったといいます。高橋さんは「バンドで食べていけなければ永遠にこの生活が続く。それなら40歳くらいで自死しよう」と当時は考えていました。3年前に加盟し、班会で何でも話し合い、科学的社会主義と日本共産党綱領を学んで、食料支援活動で学費に苦しむ学生に「それは自己責任じゃない」と展望を伝えたり、選挙で政治を変えようと活動する中で、「私の苦しみは私のせいじゃなかったと思えるようになった」と高橋さん。「私や班がとりくんできた活動の一つひとつが新自由主義との対決だった」と発言しました。

▲第45回全国大会決議案が採択された（12日、東京）

社会変えたいと自覚

新自由主義に抗する活動として実践されてきた食料支援活動の中で民青に出会い、加盟した同盟員の思いも語られました。

徳島のマイメロさん（大学2年）は、食料支援のボランティアスタッフとして6月から同盟員と共に活動してきました。総選挙に向けた「キックオフ集会」（9月11日）を視聴し、経済的に困窮する学生の存在を知り、解決の展望を学ぶ中で「学生や青年の困難な状況を改善して、より暮らしやすい社会の実現のため私も役に立ちたい」と加盟を決意しました。

北海道の森徹さんは、経済的な困窮（こんきゅう）から食料支援を利用する学生でした。同盟員と話す中で、「今まで自己責任とあきらめていた問題は、新自由主義的な政治の責任でもあると気付くことができ、自分一人で何かしなければと背負っていた肩の荷が軽くなったことを覚えている」と発言しました。しかし、「社会の実態を知ったところで、私なんかが何をやっても社会は変わらないと思っていた」といいます。その後、森さんは「公開班会」に参加したり、食料支援にボランティアとして参加する中で思いが変化していきました。困窮する学生や対話するだけで救われたと思ってくれる学生がたくさんいると気付き、対話の中で同盟員が増えていく様子を目の当たりにした森さんは「社会は変わっている、変えられると実感した」といいます。

「私も展望を広げる一員になりたい」と思った森さんは、加盟を決意しました。

大会初日、日本共産党から田村智子副委員長が連帯のあいさつをしました（4面要旨）。（2面につづく）

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701　FAX(03)-5772-5702

日本民主青年同盟中央機関紙

定価（税込み）月680円　〒130円　1部340円
郵便振替00180-4-106690